

# 2019年度 本学 人事異動



東京千代田区富士見  
日本歯科大学新聞会  
発行兼 中原 泉  
編集人 偶数月末日  
発行日 1部10円  
定価 (〒951-8580)  
新潟市中央区浜浦町1-8  
☎025(267)1500



本学のシンボルマーク

2019年(平成31年)4月1日付

## 学校法人

書記補 川畑真由美  
人事部に配置換を命ずる  
(事務局(校友会・歯学会本部事務局))

書記を命ずる(人事部)

書記補 山岸 礼子  
学校法人経理部(新潟生命歯学部)に配置換を命ずる(新潟生命歯学部図書)

事務職員 河原 祥司  
書記補を命ずる(人事部)

事務職員 狩野 信子  
書記補を命ずる(経理部)

事務職員として採用する(人事部)

命歯学部生化学講座) 准教授 鈴木 雅也  
博士(歯学)

大学院新潟生命歯学研究科併任を命ずる(硬組織機能治療学(新潟生命歯学部歯科保存学第二講座))

講師 井口 麻美  
博士(歯学)

大学院新潟生命歯学研究科併任を命ずる(口腔全身機能管理学(新潟生命歯学部歯科麻酔学講座))

教授 今井 敏夫  
歯学博士

図書館長併任を命ずる(生理学講座)

略歴・1977年3月北里大学薬学部卒業。同年4月本学歯学部衛生学教室助手、85年10月講師、2005年4月助教を経て、14年10月生理学講座教授に就任。

准教授 松野 智宣  
博士(歯学)

教授に任命する(口腔外科学講座)

歯学教育支援センター教授併任を命ずる

略歴・1987年3月

東京 図書館長 今井 敏夫

新潟 図書館長 晃

江 面

東京 図書館長 今井 敏夫

新潟 図書館長 晃

江 面

東京 図書館長 今井 敏夫

新潟 図書館長 晃

江 面

東京 図書館長 今井 敏夫

新潟 図書館長 晃

江 面

東京 図書館長 今井 敏夫

新潟 図書館長 晃

江 面

東京 図書館長 今井 敏夫

新潟 図書館長 晃

江 面

東京 図書館長 今井 敏夫

新潟 図書館長 晃

江 面

東京 図書館長 今井 敏夫

新潟 図書館長 晃

江 面

東京 図書館長 今井 敏夫

新潟 図書館長 晃

江 面

東京 図書館長 今井 敏夫

新潟 図書館長 晃

## 小林先生(東京67回卒)栃木県議5選 鷺見先生(新潟95回卒)千葉県議初当選

4月7日に投票が行われた全国統一地方選挙で、鹿沼市から立候補した小林幹夫先生が、栃木県議会議員に当選した。鷺見先生は新潟歯学部94回卒。

5期目となる。また千葉県美浜区から立候補した鷺見隆仁(すみ・たかひと)先生は、千葉県市議会議員に初当選した。鷺見先生は新潟歯学部94回卒。

共同研究施設助手を経て、2003年4月講師に就任。

講師 浅海利恵子  
博士(歯学)

准教授に任命する(歯科放射線学講座)

略歴・1998年3月本学卒業(第87回卒)、2002年3月大学院歯学研究科修了。同年4月本学歯学部歯科放射線学講座助手、06年4月講師を経て12年4月准教授に就任。

教授 添野 雄一  
博士(歯学)

教務部副部長併任を命ずる(病理学講座)

教授 柳下 寿郎  
博士(歯学)

教務部副部長併任を命ずる(附属病院歯科放射線・口腔病理診断科)

講師 名生 幸恵  
博士(歯学)

学生部副部長併任を命ずる(小児歯科学講座)

准教授に任命する(外科学講座)

略歴・2002年3月日本大学医学部卒業、09年3月同大学院医学研究科修了。04年5月日本大学医学部助手(無給)(外科学講座乳腺内分分泌外科部門)、10年4月同大学院医学部勤務(外科学講座乳腺内分分泌外科部門)。

博士(歯学) 丸山 澄

講師として採用する(歯科法医学講座・第87回卒)

博士(歯学) 米山 勇哉

助教として採用する(口腔外科学講座第96回卒)

大学院生命歯学研究科修了)

書記 村本 深雪

発生・再生医科学講座に配置換を命ずる(学校法人経理部)

書記 佐藤 純子

用度管理部に配置換を命ずる(附属病院病院内務部)

書記 牛込 剛

用度管理部に配置換を命ずる(附属病院病院内務部)

事務職員 滝口真智子

書記補を命ずる(庶務部)

事務職員 荒木 萌花

事務職員(歯科衛生士)として採用する(衛生学講座)

事務職員として採用する

## 西林衛生士(東京・附属病院)救命如置で東京消防庁表彰



傷病者に遭遇。他の通行者とともに気道の確保を図り、AEDを使用し心肺蘇生を行い、救急隊に引き継いだ。「とつさに身体が動いた、BSL(一次救命)講習の積み重ねが役に立った。早く回復していたら、と」と西林さんは語った。東京消防庁からの感謝状は、4月22日に附属病院において三代冬彦病院長が同席し、牛込消防署荒井警防課長が西林さんに贈呈した(写真)。(附属病院事務部長・鈴木洋一)

謝状が贈呈された。西林衛生士は、3月27日東京メトロ飯田橋駅通路で心肺停止状態の救命処置の功労に対し感謝状が贈呈された。

## 附属病院

講師 内田 裕子

院長を命ずる(矯正歯科)

講師 塩谷 伊毅

院長を命ずる(歯科麻酔・全身管理科)

講師 矢島 愛治

内科医長併任を命ずる(生命歯学部内科学講座)

准教授 平野 智寛

外科医長併任を命ずる(生命歯学部外科学講座)

講師 松本 智

医療相談室室長併任を命ずる(総合診療科1)

講師 阿部 恵一

スペシャリスト歯科センター長併任を命ずる(歯科麻酔・全身管理科)

博士(歯学) 小玉美也子

助教として採用する(総合診療科1・第102回卒)

大学院生命歯学研究科修了)

博士(歯学) 森竹 宣之

助教として採用する(総合診療科2・第104回卒)

大学院生命歯学研究科修了)

博士(歯学) 前田 祐貴

助教として採用する(総合診療科2・第104回卒)

大学院生命歯学研究科修了)

博士(歯学) 飯田 昌志

助教として採用する(口腔外科・第103回卒)

博士(歯学) 鎌田 弘明

助教として採用する(小児歯科・第103回卒)

博士(歯学) 巻 竜也

助教として採用する(小児歯科・第103回卒)

博士(歯学) 五井 貴大

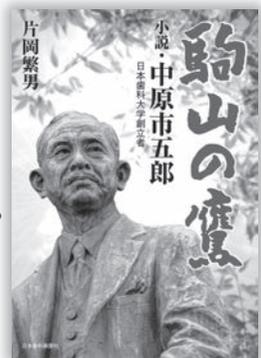
助教として採用する(小児歯科・第103回卒)

博士(歯学) 磯田 友子

助教として採用する(口腔リハビリテーション科・第97回卒)

大学院生命歯学研究科修了)

## 小説・中原市五郎 駒山の鷹



歴史小説です。幼少期から大学創立までを著した、

片岡繁男 著 B6判 / 214p / 定価(本体 2,400円+税)

FAX、電話、Webにて本社、またはお出入りの歯科商店まで

日本歯科新聞社 TEL: 03-3234-2475

Web上で立ち読みができます 「日本歯科新聞社 書籍」で検索!

計報

医療職員 (看護師) 大坂谷 顕子  
 医療職員 (看護師) 佐藤 瞳  
 看護師長を命ずる (看護部) 有友たかね  
 佐藤 琴花  
 東 桃子  
 医療職員 (歯科衛生士) 南 久美  
 医療職員 (言語聴覚士) として採用する (言語聴覚士室) 生澤 伸幸  
 主事補に任命する (病院事務部) 書記補 住友 芳充  
 病院事務部に配置換を命ずる (生命歯学部用度営繕部) 書記を命ずる (病院事務部) 事務職員 山口 敦子  
 事務職員 内田 貴大  
 書記補を命ずる (病院事務部) 小川 汐梨  
 庄司奈津希  
 事務職員として採用する (病院事務部) 新潟生命歯学部  
 教授 江面 晃  
 歯学博士 江面 晃  
 図書館長併任を命ずる (新潟病院総合診療科) 略歴・1979年3月本学卒業(第68回卒)。同年6月本学新潟歯学部歯科保存学教室第一講座助手、85年4月講師、97年4月助教を経て、2001年4月附属病院総合診療科に配置

換、03年4月教授に就任。  
 准教授 森田 貴雄  
 博士(医学) 教授に任命する (生化学講座) 略歴・1990年3月新潟大学理学部生物学卒業。97年3月東京大学大学院医学研究科修了。98年12月新潟大学脳研究所講師、2008年4月北海道医療大学歯学部口腔生物学系薬理学分野講師を経て、17年4月本学新潟生命歯学部生化学講座准教授に就任。  
 准教授 佐藤 利英  
 医の博物館副館長に任命する (医の博物館) 学生部副部長併任を命ずる (生物学) 准教授 岡 俊哉  
 学生部副部長併任を命ずる (生物学) 准教授 一宮 一智  
 教務部副部長併任を命ずる (新潟病院総合診療科) 講師 鴨田 剛司  
 教務部副部長併任を命ずる (衛生学講座) 准教授 佐藤 友則  
 博士(歯学) 新潟生命歯学部歯科保存学第一講座に配置換を命ずる (新潟病院総合診療科) 新潟病院総合診療科併任を命ずる

講師を命ずる (解剖学第一講座・第96回卒・大学院新潟生命歯学研究科修了) 助教 福井佳代子  
 薬学士 博士(歯学) 原 基  
 助教として採用する (薬理学講座・第103回卒・大学院新潟生命歯学研究科修了) 博士(歯学) 押切 孔  
 助教として採用する (歯科麻酔学講座・第103回卒・大学院新潟生命歯学研究科修了) 博士(歯学) 太田 信  
 助教として採用する (歯科矯正学講座・第104回卒・大学院新潟生命歯学研究科修了) 博士(医学) 池田 正直  
 助教として採用する (耳鼻咽喉科学・2007年3月埼玉医科大学卒業) 主事補 高橋久美子  
 図書館に配置換を命ずる (学校法人経理部(新潟生命歯学部)) 外山 恵大  
 事務職員として採用する (用度営繕部) 大関 リナ  
 事務職員として採用する (院務部) 村木 恵太  
 技術職員として採用する (用度営繕部) 新潟病院  
 准教授 廣安 一彦  
 博士(歯学) 教授に任命する (新潟病院口腔インプラント科) 略歴・1990年3月本学卒業(第79回卒)、

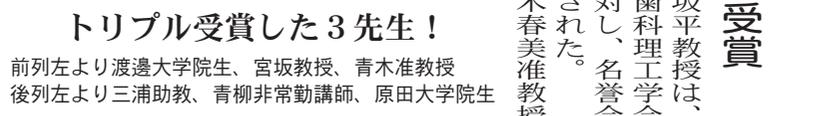
95年3月大学院新潟歯学研究科修了。同年5月本学新潟歯学部附属病院総合診療科助手、同年11月口腔科学第一講座に配置換、2001年4月講師を経て、05年4月助教に就任。07年4月新潟病院口腔外科に配置換、15年4月口腔インプラント科に配置換。総合診療科併任を命ずる (新潟生命歯学部歯周病学講座) 教授 佐藤 聡  
 教授 小椋 一朗  
 放射線科併任を命ずる (放射線科科長併任を命ずる) (新潟生命歯学部歯科放射線学講座) 准教授 戸谷 収二  
 口腔外科科長を命ずる (口腔外科) 博士(歯学) 水谷 太尊  
 助教として採用する (矯正歯科・第101回卒) 学士(歯学) 田村 智巳  
 助教として採用する (小児歯科・第100回卒) 須田 杏奈  
 遠山麻衣子  
 医療職員 (歯科衛生士) として採用する (歯科衛生科) 河野麻伊子  
 医療職員 (看護師) として採用する (看護科) 東京短期大学  
 講師 竹井 利香  
 修士(学術) 准教授に任命する (歯科技工学科) 博士(歯学) 瀨戸 淑子  
 助教として採用する (矯正歯科・第101回卒) 学士(歯学) 田村 智巳  
 助教として採用する (小児歯科・第100回卒) 須田 杏奈  
 遠山麻衣子  
 医療職員 (歯科衛生士) として採用する (歯科衛生科) 河野麻伊子  
 医療職員 (看護師) として採用する (看護科) 東京短期大学  
 講師 竹井 利香  
 修士(学術) 准教授に任命する (歯科技工学科) 博士(歯学) 赤柴 竜  
 助教として採用する (口腔外科学・第90回卒) 博士(歯学) 赤泊 圭太  
 講師を命ずる (訪問歯科口腔ケア科・第97回卒・大学院新潟生命歯学研究科修了) 博士(歯学) 渡會 侑子  
 助教として採用する (総合診療科・第102回卒・大学院新潟生命歯学研究科修了)

富田教授(東京)最終記念講義  
 富田教授は、「胃手術後障害」特に胃癌患者症例の臨床研究から、「興味ある歯科異物症例について」の二つのテーマを講演された。講義終了後、花束が贈呈され、中原泉学長から記念品が手渡された。富田教授は、1977年3月日本大学医学部卒業、81年9月同大学院医学研究科修了。同年10月同大学院歯学部第一外科学教室有給助手、講師、助教を経て、99年(平成11)4月本学歯学部外科学教授に就任し、20年間教授をつとめた。



富田教授(左)は、「胃手術後障害」特に胃癌患者症例の臨床研究から、「興味ある歯科異物症例について」の二つのテーマを講演された。講義終了後、花束が贈呈され、中原泉学長から記念品が手渡された。富田教授は、1977年3月日本大学医学部卒業、81年9月同大学院医学研究科修了。同年10月同大学院歯学部第一外科学教室有給助手、講師、助教を経て、99年(平成11)4月本学歯学部外科学教授に就任し、20年間教授をつとめた。

日本歯科理工学会 東京・理工学がトリプル受賞  
 4月20・21日に東京歯科大学水道橋校舎で開催された第73回日本歯科理工学会学術大会において、生命歯学部歯科理工学講座の宮坂平教授は、永年の日本歯科理工学会への貢献に対し、名誉会員証が授与された。また、青木春美准教授



トリプル受賞した3先生!  
 前列左より渡邊大学院生、宮坂教授、青木准教授  
 後列左より三浦助教、青柳非常勤講師、原田大学院生

は、日本歯科理工学会論文賞を受賞した。受賞論文は「表面滑沢硬化材塗布が床用レジンの諸性質に及ぼす影響」(青木春美、宮坂平、石田祥己、青柳有祐、三浦大輔)である。さらに渡邊慧大学院生は、今回から設けられた優秀な研究発表に対して授与される企業賞(日本歯科理工学会株式会社松風賞)を受賞した。受賞研究は「歯科用セラミックスの落錘衝撃試験法による研究」(渡邊慧、宮坂平、石田祥己、原田唯生、青木春美、三浦大輔、青柳有祐)である。

駒山の鷹  
 小説・中原市五郎  
 このたび、(株)日本歯科新聞社から、本学の創立者中原市五郎先生の伝記小説「駒山の鷹」(くまのたか)が刊行された。著者の片岡繁男氏(1915〜2010)は、佐賀県出身で九州歯科大学専門学校卒業。東京都内での開業の傍ら、創作活動に筆をふるった。駒ヶ根出身の創立者の雅号「駒山」を広告掲載

千代田区の掲示板や地元富士見二丁目町会のホームページなどで講演会を知った、乳幼児連れの母親、妊婦、また本学附属病院の退職者や育児休業中の職員も含め、会場には20名ほどの聴衆が集まった。  
 今回の講演会の趣旨は、1歳半での歯科健診受診以前に乳幼児が獲得する、哺乳や離乳食を食べる機能の育ちを学ぶことで、子育て中の食に関する困りごとを軽減することだった。また食べる機能について学ぶことは、口腔機能発達不全症に気付くきっかけにも考えられた。  
 今後も、講演会やイベントなどを通じ、地域の方々との連携と交流を継続していきたいと考えている。(市民公開講座部会長・町田麗子)



乳幼児たちも公開講座に参加し、子どもたちの声がにぎやかにひびく

「子どもの食べる・飲むを育てる」

東京・附属病院主催の公開講座「子どもの食べる・飲むを育てる」が、附属病院1階会議室で3月11日(月)に開催された。当日講演したのは、口腔リハビリテーション科の町田麗子講師。

千代田区の掲示板や地元富士見二丁目町会のホームページなどで講演会を知った、乳幼児連れの母親、妊婦、また本学附属病院の退職者や育児休業中の職員も含め、会場には20名ほどの聴衆が集まった。  
 今回の講演会の趣旨は、1歳半での歯科健診受診以前に乳幼児が獲得する、哺乳や離乳食を食べる機能の育ちを学ぶことで、子育て中の食に関する困りごとを軽減することだった。また食べる機能について学ぶことは、口腔機能発達不全症に気付くきっかけにも考えられた。  
 今後も、講演会やイベントなどを通じ、地域の方々との連携と交流を継続していきたいと考えている。(市民公開講座部会長・町田麗子)